

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、設備投資に足踏み感がありましたが、個人消費や輸出の持ち直しの動きと雇用・所得環境の改善などから緩やかな回復基調が続きました。また、対米ドル円レートは、米国の利上げ観測の後退や英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感の高まりなどから前年同期と比べ大幅な円高で推移しましたが、11月から12月にかけては急激な円安が進行しました。

世界経済につきましては、米国では個人消費の増加や設備投資での持ち直しの動きから景気回復が続き、12月には1年ぶりに利上げが実施されました。アジア地域においては、中国では輸出に弱い動きがありますが、小型車減税の効果もあり消費は堅調に推移しました。タイやインドでも景気の緩やかな回復がみられました。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売では軽自動車不振の一方で登録車の新車投入効果により、3,500千台で前年同期比0.9%の増加となりました。完成車輸出は、3,525千台で前年同期比1.5%の増加となりました。国内の自動車生産台数は、6,815千台で前年同期比0.2%の増加となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連は、データセンター向けは堅調なもの、パソコン向けが減少したことにより、HDD（ハードディスクドライブ）の受注は前年同期比で減少しました。

以上のような経営環境のもと、海外事業での円高による円換算額の減少等により、売上高は458,333百万円（前年同期比3.5%減）となりました。また収益面では、合理化努力や受注車種構成の変化等により、営業利益は27,688百万円（前年同期比8.7%増）、経常利益は29,451百万円（前年同期比3.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,739百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

## [懸架ばね事業]

懸架ばね事業は、円高の影響等により、売上高は87,885百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は8,009百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

## [シート事業]

シート事業は、円高の影響等により、売上高は209,587百万円（前年同期比4.5%減）となりました。営業利益は、合理化努力や受注車種構成の変化等により、9,694百万円（前年同期比49.0%増）となりました。

## [精密部品事業]

精密部品事業はHDD用部品の数量減と円高の影響等により、売上高は101,447百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は6,473百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

## [産業機器ほか事業]

産業機器ほか事業は、売上高は59,412百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は3,510百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ15,069百万円増加し、524,879百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末に比べ453百万円増加し、240,426百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ14,616百万円増加し、284,453百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績および最近の為替動向を考慮し、以下のとおり、平成28年5月12日に公表した業績予想を修正いたします。

(通期予想平均為替レート：108円/米ドル、3.12円/タイバーツ)

## &lt;通期&gt;

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成28年5月12日)	621,000	33,000	34,000	22,000	90.58
今回修正予想 (B)	622,000	37,000	38,000	23,000	94.69
増減額 (B-A)	1,000	4,000	4,000	1,000	—
増減率 (%)	0.2	12.1	11.8	4.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	640,516	35,041	36,111	21,592	88.90

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,553	75,708
受取手形及び売掛金	133,422	131,761
商品及び製品	16,787	16,081
仕掛品	7,554	9,206
原材料及び貯蔵品	14,336	14,192
部分品	4,608	4,722
繰延税金資産	5,135	4,069
その他	22,570	23,507
貸倒引当金	△133	△276
流動資産合計	276,834	278,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,343	134,126
減価償却累計額	△86,222	△86,931
建物及び構築物(純額)	48,121	47,194
機械装置及び運搬具	223,282	224,644
減価償却累計額	△177,281	△175,672
機械装置及び運搬具(純額)	46,000	48,971
土地	31,483	30,461
リース資産	1,212	1,129
減価償却累計額	△718	△603
リース資産(純額)	494	526
建設仮勘定	12,026	7,017
その他	62,578	64,029
減価償却累計額	△55,068	△56,030
その他(純額)	7,510	7,999
有形固定資産合計	145,636	142,171
無形固定資産	4,307	3,387
投資その他の資産		
投資有価証券	61,031	72,714
長期貸付金	8,830	11,134
繰延税金資産	5,438	3,883
退職給付に係る資産	—	2,576
その他	8,472	10,816
貸倒引当金	△740	△776
投資その他の資産合計	83,032	100,347
固定資産合計	232,976	245,906
資産合計	509,810	524,879

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,660	72,036
電子記録債務	29,561	41,385
短期借入金	9,145	13,365
未払法人税等	3,310	3,392
繰延税金負債	576	605
役員賞与引当金	267	187
設備関係支払手形	2,320	3,046
その他	47,563	35,279
流動負債合計	174,407	169,299
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	11,268	11,649
長期借入金	16,917	22,752
リース債務	481	479
繰延税金負債	7,968	11,482
退職給付に係る負債	24,216	15,514
役員退職慰労引当金	571	552
執行役員退職慰労引当金	644	734
その他	3,498	7,960
固定負債合計	65,565	71,126
負債合計	239,972	240,426
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	19,404	19,579
利益剰余金	196,477	211,873
自己株式	△801	△801
株主資本合計	232,090	247,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,513	30,544
為替換算調整勘定	9,442	△1,544
退職給付に係る調整累計額	△5,803	△4,282
その他の包括利益累計額合計	25,152	24,716
非支配株主持分	12,594	12,076
純資産合計	269,837	284,453
負債純資産合計	509,810	524,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	474,972	458,333
売上原価	417,061	398,078
売上総利益	57,910	60,254
販売費及び一般管理費	32,439	32,566
営業利益	25,470	27,688
営業外収益		
受取利息	823	712
受取配当金	1,215	960
その他	2,077	1,538
営業外収益合計	4,116	3,212
営業外費用		
支払利息	224	123
為替差損	29	306
その他	847	1,018
営業外費用合計	1,100	1,448
経常利益	28,485	29,451
特別利益		
退職給付制度改定益	—	1,064
特別利益合計	—	1,064
特別損失		
固定資産売却損	68	—
減損損失	—	689
特別損失合計	68	689
税金等調整前四半期純利益	28,417	29,826
法人税等	7,810	7,890
四半期純利益	20,607	21,936
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,272	1,196
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,334	20,739

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	20,607	21,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,156	9,040
為替換算調整勘定	△7,344	△11,852
退職給付に係る調整額	△681	1,545
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,001	△373
その他の包括利益合計	△6,871	△1,639
四半期包括利益	13,735	20,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,038	20,303
非支配株主に係る四半期包括利益	696	△6



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	92,371	219,408	107,497	55,695	474,972	—	474,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,400	39	1,234	6,590	9,264	△9,264	—
計	93,772	219,447	108,732	62,285	484,237	△9,264	474,972
セグメント利益 (営業利益)	8,376	6,506	8,002	2,584	25,470	—	25,470

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額9,264百万円はセグメント間取引の消去であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	87,885	209,587	101,447	59,412	458,333	—	458,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,303	27	1,189	6,401	8,921	△8,921	—
計	89,188	209,614	102,637	65,814	467,254	△8,921	458,333
セグメント利益 (営業利益)	8,009	9,694	6,473	3,510	27,688	—	27,688

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額8,921百万円はセグメント間取引の消去であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

産業機器ほか事業の資産について減損損失689百万円を計上しております。

(参考情報)

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高	282,122	127,053	84,447	493,624	△18,651	474,972
セグメント利益(営業利益)	15,826	7,670	1,973	25,470	—	25,470

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(2) 北米ほか・・・アメリカ・オランダ

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高	291,970	104,436	77,235	473,643	△15,309	458,333
セグメント利益(営業利益)	17,387	8,085	2,214	27,688	—	27,688

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(2) 北米ほか・・・アメリカ・オランダ